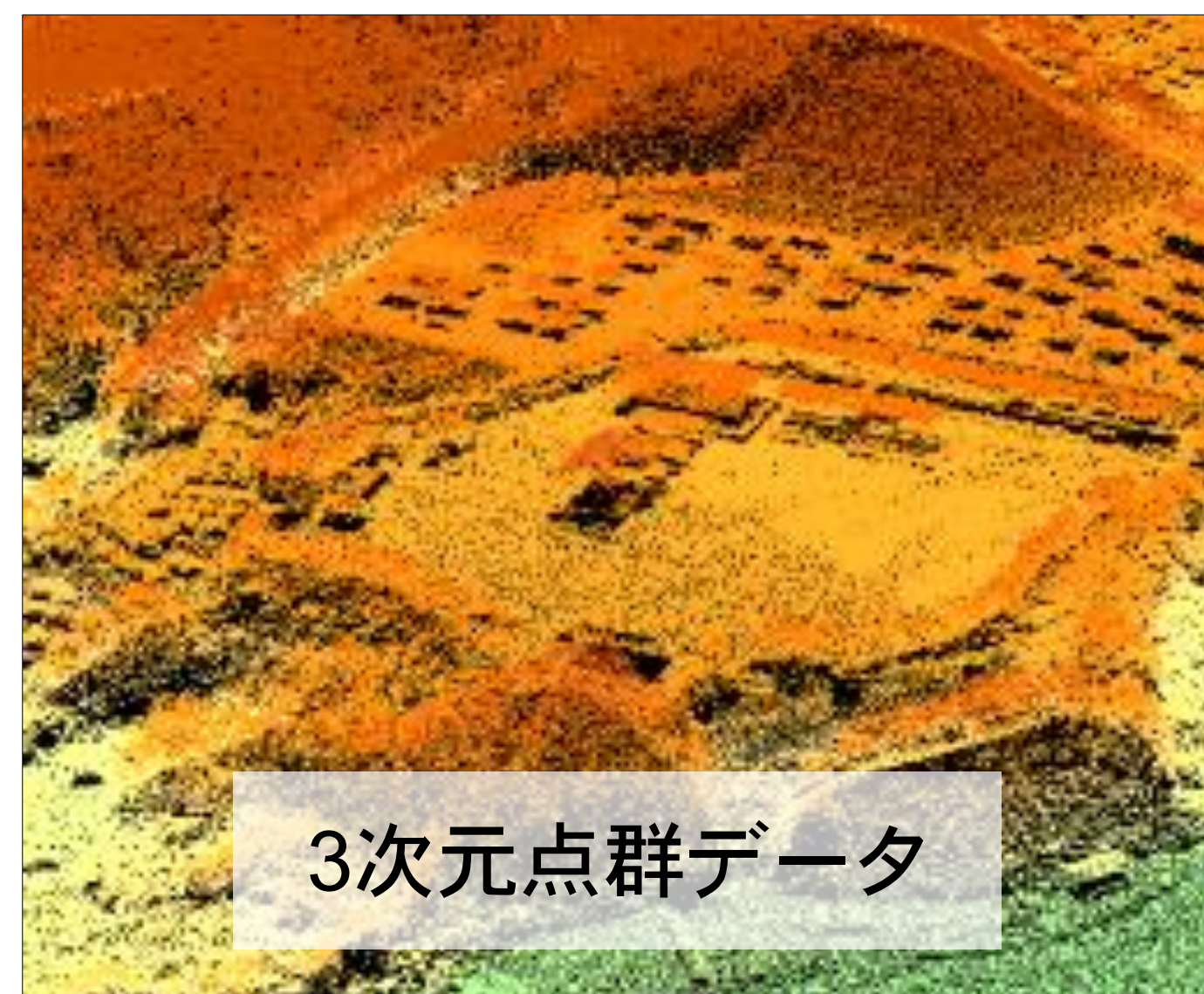
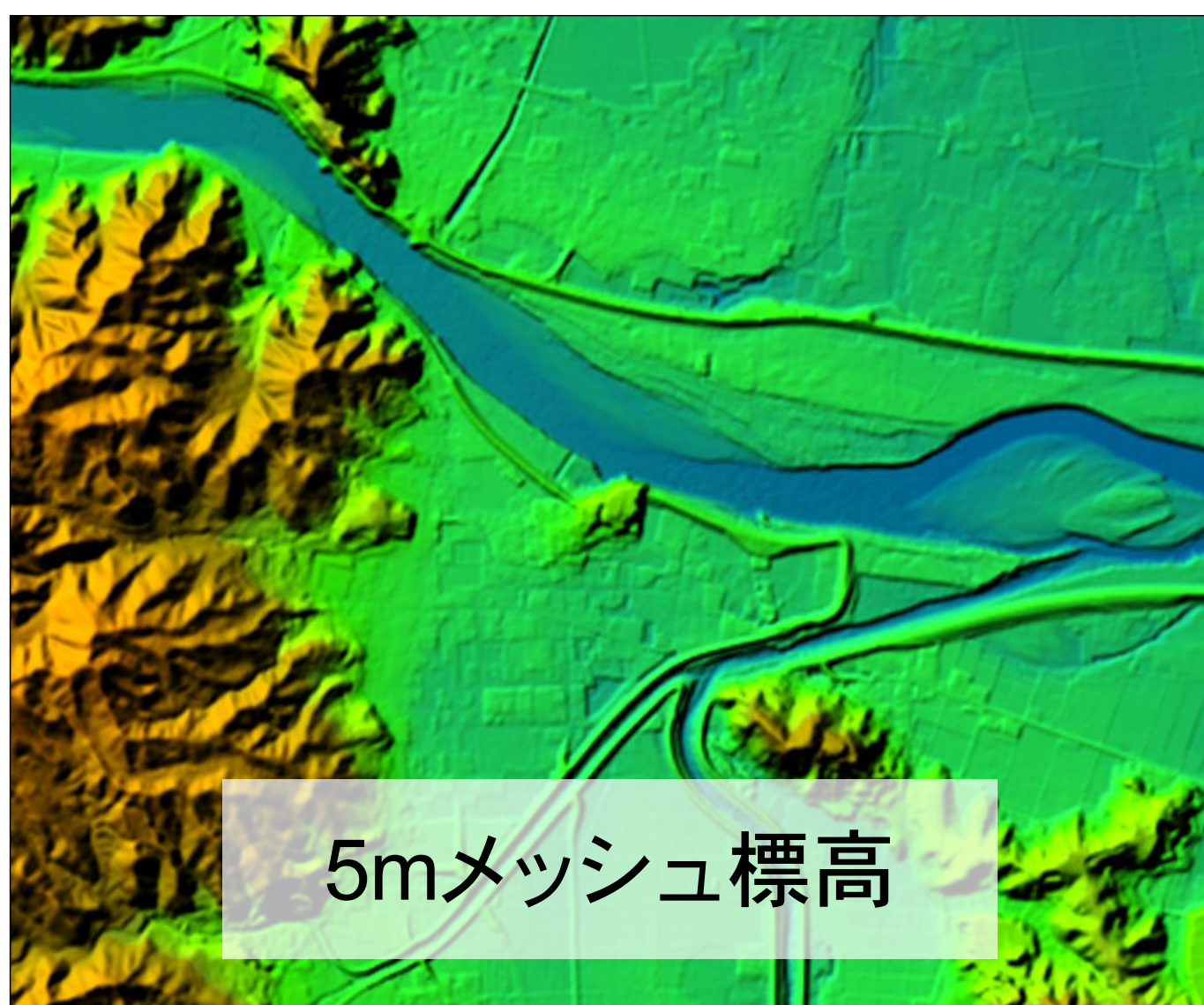


# 高精度標高データの整備

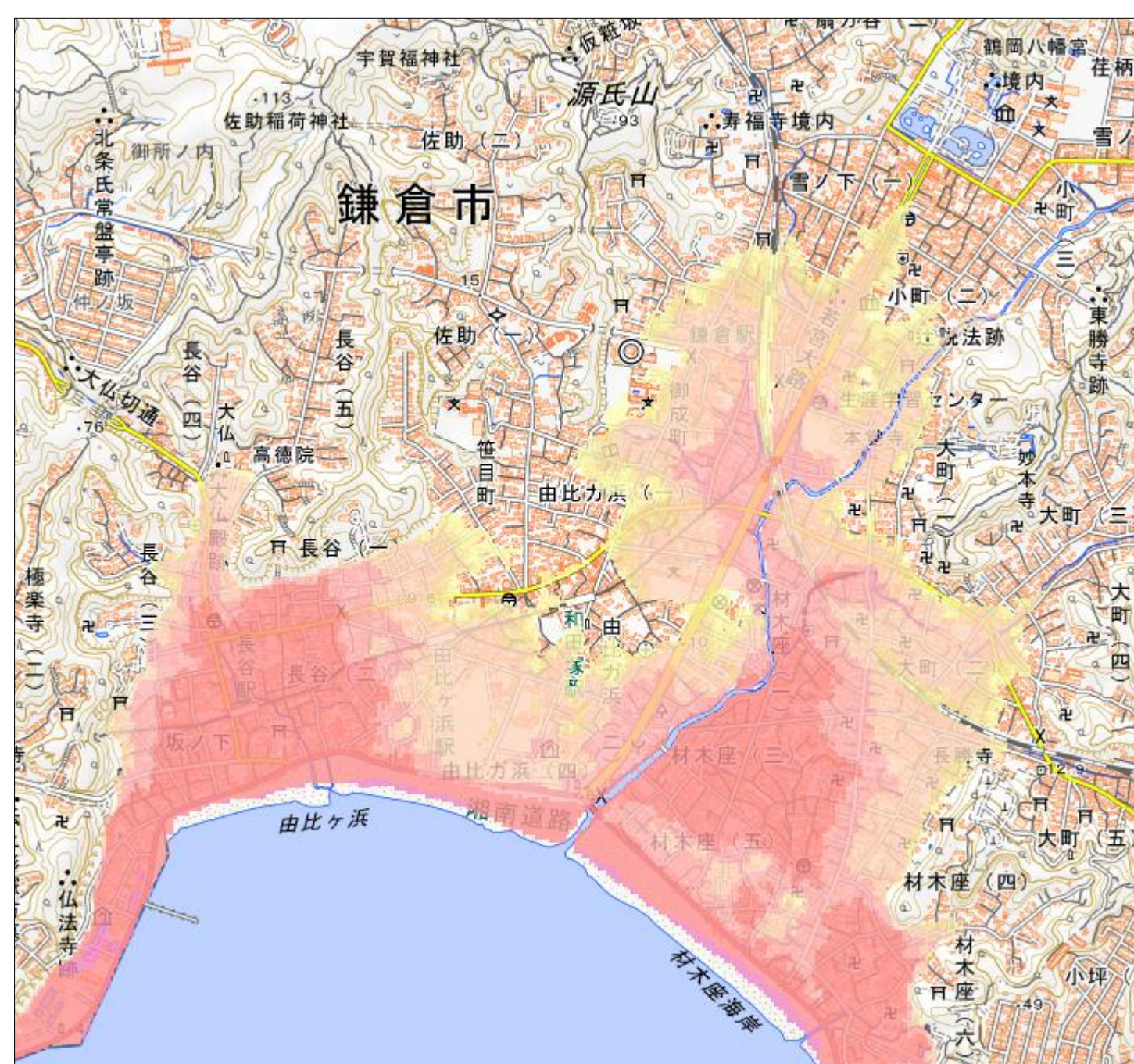
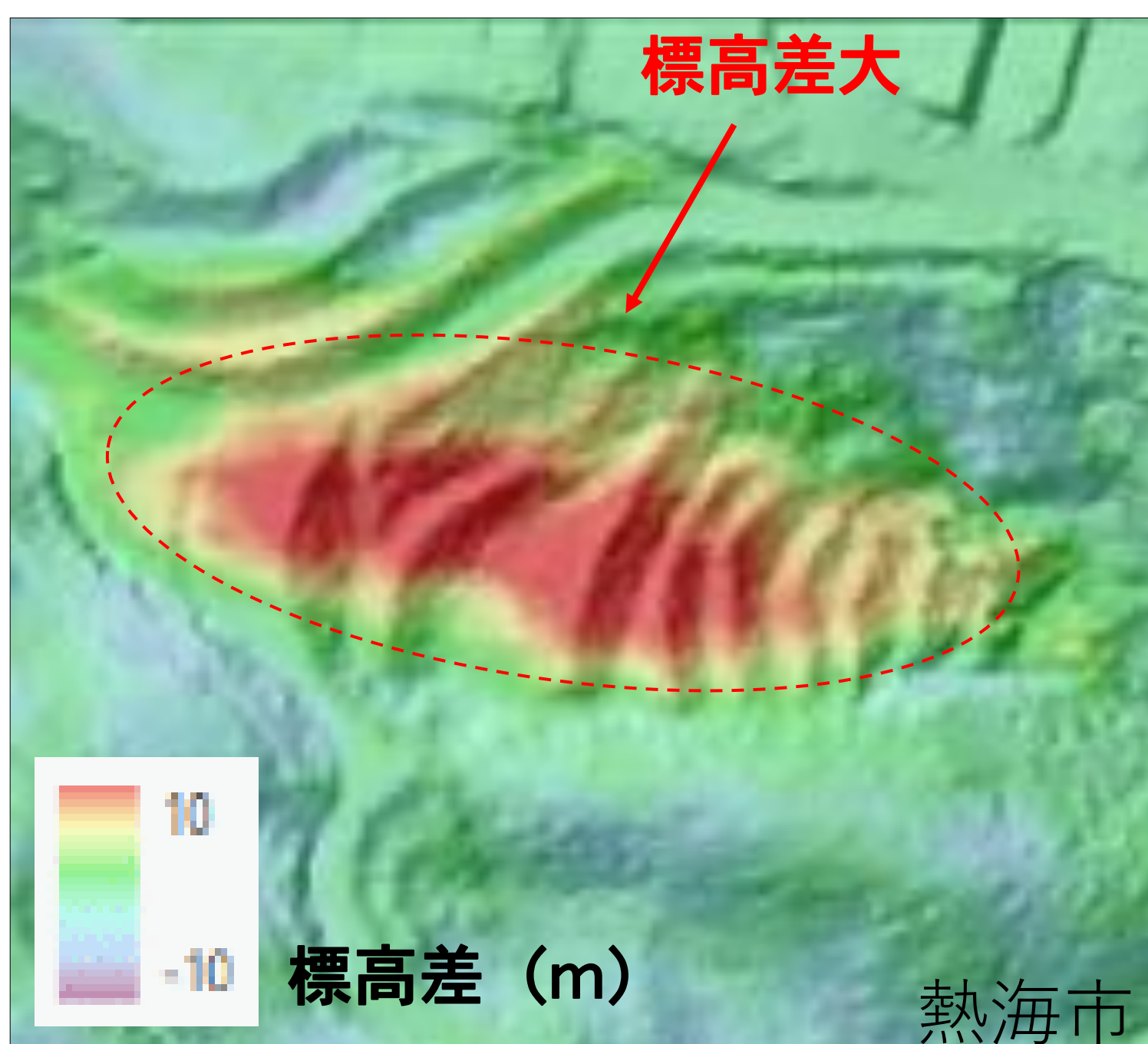
高精度標高データ（5mメッシュ標高、3次元点群データ）は、浸水想定や津波予測など、あらゆる自然災害へのソフト対策に必要な国土の基盤情報です。

国土地理院では、令和3年7月1日からの大雨により発生した熱海市の土砂災害において、災害前後に取得した高精度標高データから標高値の変化量を抽出し、迅速な被害状況把握に貢献しました。現在、航空レーザ測量の実施や公共測量成果の活用により、高精度標高データの整備を加速しています。



## 高精度標高データの活用

被災状況の速やかな把握による復旧・復興、ハザードマップ作成の基礎資料等  
 浸水推定の3次元地図化など各種シミュレーションの高度化



■ 土砂災害の状況を把握

■ ハザードマップの作成

■ 浸水推定の3次元地図化